

2021年5月25日  
東京海上日動火災保険株式会社  
東京海上日動リスクコンサルティング株式会社  
BOLDLY 株式会社

## AIを活用したバス事業者向け事故削減コンサルティングサービスの提供開始 ～車内事故の削減や効果的な運転指導を支援～

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長:広瀬 伸一、以下「東京海上日動」)と東京海上日動リスクコンサルティング株式会社(代表取締役社長:嶋倉 泰造、以下「TRC」)は、BOLDLY 株式会社(代表取締役社長 兼 CEO:佐治 友基、以下「BOLDLY」)が提供する「DaiLY by dispatcher」を活用したバス事業者向けの新たな事故削減コンサルティングサービスを、2021年6月1日から提供します。

### 1. 背景

東京海上日動と TRC は、保険契約を通じて収集した自動車事故のデータを蓄積しており、データに基づいた事故削減の知見や安全管理体制の構築・評価・運用に関する専門性を有しています。TRC においては、その知見や専門性を生かし、過去 3 年間で約 200 社のバス事業者へ事故削減コンサルティングサービスや安全指導の支援サービスを提供してきました。

そのような中、東京海上日動と TRC は、バス事業者の安全性をより高精度に評価して事故削減を支援するために、BOLDLY と連携して、従来のコンサルティングサービスに、AI の活用により安全運転をサポートする「DaiLY by dispatcher」を組み合わせた新たなサービスを開発しました。

### 2. 「DaiLY by dispatcher」を活用した事故削減コンサルティングサービスの特長

「DaiLY by dispatcher」※とは、BOLDLY が提供するバス事業者向けプラットフォームで、バスの車内事故削減や運転記録に基づく効果的な運転指導を支援するものです。事故削減コンサルティングサービスでは、このプラットフォームで収集したデータをもとに、TRC の専門家がバスの安全性を高めるサポートや報告レポートを提供します。本サービスの特長は、以下の通りです。

- これまで TRC が提供してきた添乗調査では、調査員の目視により短時間の運行を調査しておりました。今回のサービスでは、バス内に設置したモーションキャプチャーカメラ(貸出)から、車内での転倒事故につながりやすい「乗客が着席する前の発進」や「走行中の乗客の移動」などを AI が検知して、映像を記録します。また、そうした危険場面の発生時に運転士や乗客に注意喚起を行うことも可能です。
- 運転士の運転日報を自動で作成し、バスの急旋回・急発進・急加速などの 7 項目のアラートを記録します。項目毎のアラート件数を、前回の運転や全社平均などと比較することも可能です。
- 収集したアラート件数・発生場所のマッピング情報をレポートにまとめ、安全性の評価を行います。

## 【DaiLY by dispatcher の管理画面イメージ】



※ 「DaiLY by dispatcher」の詳細は、下記をご覧ください。

<https://www.softbank.jp/drive/service/daily/>

### 3. 今後について

東京海上日動と TRC は、それぞれの顧客ネットワークを活用しながらバス事業者向けのコンサルティングサービスを提供し、より安全なバスの運行を支援していきます。また、BOLDLY が持つ技術やソリューションを活用しながら新たなサービスの研究・開発を進めてまいります。

なお、TRC は 2021 年 7 月 1 日から東京海上グループのデータ中核会社「東京海上ディーアール株式会社※」として始動し、今後も最先端テクノロジーや IoT デバイスを活用した事業を展開してまいります。

※ 2021 年 5 月 20 日ニュースリリース

「新たな価値創出に向けた事業の開始～データ中核会社『東京海上ディーアール』始動～」